

恵友

医療法人恵友会

霧ヶ丘つだ病院

ほっとホーム霧ヶ丘

恵友会デイサービスセンター

訪問看護・ヘルパー

ケアプランステーション



今号の恵友

- ・セルフマネジメント能力を高めるために
～入院呼吸リハビリ教室のご紹介～
- ・地域交流から生まれる出会い☆新たな世界
デイサービスボランティア受入紹介
中学校職場体験学習
病院スタッフのクラブ活動始めました！

- ・第56回全日本病院学会 in 福岡 参加報告
- ・呼吸ケアのスペシャリストを目指して
慢性呼吸器疾患看護認定看護師試験 合格
3学会合同呼吸療法認定士試験 合格
- ・連携室だより

『春吉の眼鏡橋』



眼鏡橋といえば長崎県が有名であり、国の重要文化財や登録有形文化財に指定されているものも多く存在します。北九州市小倉南区に架かる「春吉の眼鏡橋」も大正8年に建設された市の史跡指定の石橋で、四季の移り変わりとともに様々な表情を見せてくれる貴重な文化遺産です。真っ赤に咲いたヒガンバナが鮮やかで、秋の訪れを知らせてくれているようです。

《撮影 植橋 晋一》

患者さんのセルフマネジメント能力を高めるために 呼吸リハビリ教室（毎週 火・金 13:30~）

慢性呼吸器疾患では、急性増悪を繰り返すことが多いため入退院の頻度が高く、退院後も「また具合が悪くなって入院してしまうのでは…」と不安感に苛まれ、在宅生活に自信がもてません。

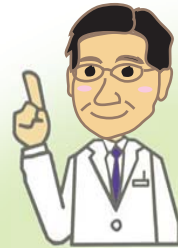
当院ではチーム医療の取り組みの一環として、そのような入院患者さんに、病気の正しい知識や対処方法、上手に病気と付き合いしていくにはどうすればいいのかを院内スタッフがお話して、自己管理能力を身に付けていただくこと、独自のレクチャー教室（呼吸リハビリ教室）を開催しています。

今号では、入院患者さんを対象とした教室の主な内容をご紹介します。次号では外来患者さん対象の呼吸リハビリ教室紹介を予定しております。

院長

呼吸器の病気・終末期に向けて

①禁煙・病気のこと・どうして息苦しくなるかについて話し、②さらに、終末期に向けて直面する様々な問題や病状の進行具合、それに対する治療など患者さんが知りたいことについて話し、不安の解消に努めています（事前ケア計画）。困っていることについて、COPD患者さん同士で話し合う機会も設けています。



薬剤師

薬の基礎知識・吸入薬の吸入方法

薬の種類や服薬方法などをお話し、吸入薬に関してはサンプルをそれぞれ用意して正しい吸入方法を実演しながらの説明を行っています。



臨床検査技師

呼吸機能検査・睡眠

検査の目的や方法、治療への活用方法についてお話をさせていただきます。睡眠については基礎的な知識や睡眠を阻害する病気、また、快眠のための環境づくりや快眠方法をご紹介します。



管理栄養士

栄養と「食」の楽しみかた

【食べる】ということの楽しさをお伝えしています。呼吸器疾患の患者さんにとって必要な栄養素をどのように摂取すればいいのか等を説明し、そのための美味しく食べる工夫やコツをご紹介します。



看護師

急性増悪の見極めとリビング・ウィル

患者さんが自分の最後にどう向き合いたいのか、例えば延命治療のため人工呼吸器の装着、いくつもの管につながれた状態での生命維持を望まれるのか、自身の意向を家族に伝えておくことが尊厳を損なわずに最後を迎えるためのプロセスであることを、対話形式でレクチャーしています。



理学療法士

運動療法・排痰・ADL

呼吸リハビリの大切さや効果についてお話しています。患者さん個々人の状態に沿った説明や、実際に困っている点や疑問点なども一緒に考えながら質疑応答の時間を設けています。



ソーシャルワーカー

心の健康・ストレスマネジメント

うつ傾向に陥りやすいCOPD患者さんへ、自分自身の価値観を認めることができるように「心の健康とストレス」というテーマでストレス対処法などをご紹介します。また、のびし朗読やのびし歌（音楽療法）などで、楽しく腹式呼吸の練習も行っています。

ケアマネジャー

介護保険・福祉サービス

制度やサービスの内容・利用までの流れについて説明を行っています。退院後に患者さんが安心して在宅生活を送れるような具体例をご紹介します。ケアマネジャーの役割を知っていただいています。



在宅酸素プロバイダー

在宅酸素機器の取扱い

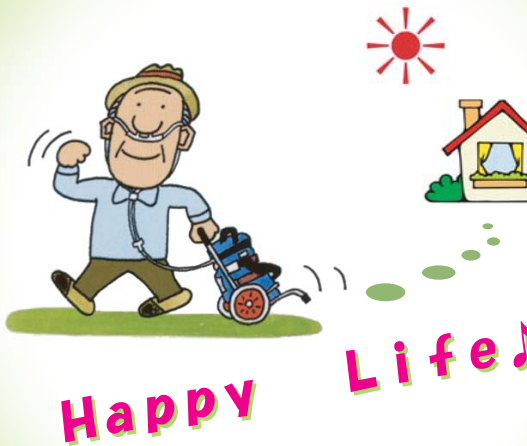
携帯用酸素ボンベ・酸素濃縮装置・液化型酸素装置などの仕組みや取扱い説明を行っています。また、HOT（在宅酸素療法）導入になった際の費用等についてもお話しています。



呼吸リハビリ教室の様子☆
参加された患者さんからは、増悪や入院の回数も減って以前よりも毎日が楽しく過ごせるようになったとの声も多くいただいています☆



▲ 月間予定表ポスター
各階に掲示してお知らせしています。週2回ペースで開催中☆





地域交流から生まれる出会い☆新たな世界

ボランティア

今号では当デイサービスセンターにボランティア訪問してくださった方々をご紹介します☆
毎回、利用者さん・スタッフとものとも楽しませていただき感謝感謝です！
今後もたくさんのボランティア訪問、お待ちしております☆☆☆



プロレス選手が訪問

九州プロレスから【ばってん×ぶらぶら】ことばってん多摩川さんが来てくれました♪スタッフとのプロレス対決では、皆さん大盛り上がり＆爆笑の渦に！！
最後はキメのばってんポーズで記念撮影しましたよ☆



寸劇&フラダンス

寸劇団「大樹」とフラダンス「ティアレ」の皆さんにお越しいただき、普段見慣れない寸劇を見せていただきました♪フラダンスも優雅で好評でした☆



夏祭りにて

近隣幼稚園の園児さんが和太鼓を披露してくれました！一生懸命な姿がとても愛らしいですね☆



園児さんたちから利用者さん一人ひとりに手作りのメダルが贈られ、感動のあまり涙ぐむ方もいました☆
すごく温かい気持ちになりました♥

サクソフォンライブ



サクソ演奏ボランティアの川東様に様々なジャンルの懐メロをオシャレに演奏していただきました♪
サクソもトークも大変素晴らしく、利用者さんも大満足の様子でした！

野菜販売会

月に一度、八百屋さんによる野菜・果物の販売会を催しています☆
どれも新鮮で大安売りのため、利用者さんたちも楽しんでお買い物されています♪



中学生 職場体験

9月・10月で日新館中学校と湯川中学校の生徒さんが、一日職場体験学習のために当院を訪れました♪

病棟・リハビリ室・検査室・薬局など、院内各部署でスタッフが普段どのような仕事をしているのか話を聞き、実際に体験してもらいました。(患者さんも学生さんととても楽しそうにお話されていました)

このような機会は、勤労観や職業観を育むだけでなく、現代希薄化している人間関係の在り方、また社会性や責任感を身に付ける意味でも役に立つことと思います。今後も職場体験学習を通じて、地域の教育活動に貢献できればと考えています。



二胡教室 はじめました



10月より二胡奏者の帯金 真理子さんを講師に、スタッフ対象の二胡クラブ活動を始めました♪

毎月2回のクラブ活動ですが、広々と明るい教室から雄大な足立山を眺めながらの練習はゆったりとした癒しの空間になることでしょう。

「12月の病棟クリスマス会で患者さんたちがニコニコ笑顔になるような二胡のクリスマスソングをプレゼントする!」ということを最初の目標に、和気藹々と楽しみながら頑張ってます!



二胡・・・中国の伝統的な弦楽器で、心に響く温かい音色が特徴的です。
二の字が示すとおり2本の弦を持ち、弦の間に馬の毛でできた弓を挟んで弾きます。
材質は木材(紅木、紫檀、黒檀など)でできており、ボディにはニシキヘビの皮が張ってあります。



帯金 真理子(おびかね まりこ)プロフィール
九州女子短期大学音楽科卒業 2004年より二胡奏者として演奏活動開始
現在、北九州市若松区と大分県宇佐市に教室を持ち、自身も全国各地の様々な施設やイベント等で演奏活動中。ジャンルに関係なく、独自のアレンジと演奏スタイルでシーンに合った癒しの空間を作り上げる。
ホームページアドレス：<http://music.geocities.jp/nikoppikibee/>

第56回全日本病院学会 in 福岡

全国の民間病院の取り組みが紹介され、今年度は約3000名の参加者となり、国の進める地域包括ケア計画の中での民間病院の在り方についても議論されました。篠栗病院の陣内先生が学会長を務められ、津田院長も実行委員を務めました。当院での取り組みをご報告いたします。



慢性呼吸器疾患看護認定看護師 一院内から在宅まで一 看護師 井上 真実



慢性呼吸器疾患看護認定看護師（以下、CN）2名の活動として、病棟においては①看護師への定期勉強会の開催②NPPVマスク調整から医師の指示範囲内での条件

設定・患者のログデータ評価③COPD患者の吸入流速の測定や吸入指導マニュアルの作成を行ってきました。また、在宅においてはCN1名が昨年訪問看護ステーションへ異動し、110名の在宅酸素療法患者に在宅訪問・指導、家族への実践的ケアも行いました。現在、外来への関与を開始して看護外来の開設を目指しています。

当院のような呼吸器専門病院では、知識と技量を持ったCNは患者サイドからも安心感を持ってもらえます。呼吸器領域に限らず、CNはチーム医療の質向上に貢献できると考えます。

若年気管支拡張症患者の外来呼吸リハビリテーション継続の意義と今後の課題 理学療法士 進藤 崇史

22歳の先天性気管支拡張症で在宅酸素療法を受けておられる方の3ヶ月の呼吸リハ入院について報告します。

退院後は週2回の外来呼吸リハへ移行し、排痰確認、1時間程度の運動介入と筋電気刺激による筋力増強トレーニング、3ヶ月に1度の頻度で体力測定とフィードバックを行ってきました。

退院後1年半にわたり増悪はなく、運動耐容能、下肢筋力、QOL、不安・抑うつに関しても改善できており、加えて自宅に近接するジムへの参加も可能となりました。

今回は在宅酸素療法患者が自己管理能力を高め、心身機能向上だけでなく一部社会参加の拡大にも至っています。しかし、経年的に機能低下していくことも予測されるため、外来呼吸リハによる長期的な機能維持が求められます。

地域の睡眠検査センターにおける 睡眠検査件数と対象疾患の変化 臨床検査技師 森槌 康貴

これまで閉塞性睡眠時無呼吸症候群の診断を通して、地域の様々な病院との医療連携や産業医学分野とも関ってきました。

現在、PSG検査以外にも心不全、チェーンストークス呼吸に対するASVタイトレーションや慢性呼吸不全に対するNPPVタイトレーションなどが増加し、睡眠呼吸障害も多岐に渡ってきています。また、睡眠呼吸障害患者の他の睡眠障害鑑別のためのPSG検査やMSLT検査も年々増加しています。

地域の睡眠センターに対する要求と多様化は今後さらに進むと予測され、生活習慣病など他の疾病も柔軟に考慮した睡眠衛生指導をチーム医療・地域連携で行っていく必要があります。



呼吸器疾患患者の要介護度と ADLの関係 理学療法士 池内 智之

呼吸器疾患患者は要介護認定結果が低いという現状から、呼吸器疾患特有の状態評価が要介護度に反映されているのか検討しました。

呼吸器疾患を持つ当デイサービス利用者41名を対象に要介護度、ADL評価、mMRC、酸素流量との相関関係を分析、さらに要介護1の利用者については呼吸器疾患患者と他疾患患者で、身体活動量に差があるのかについても検討しました。

結果は、要介護度との相関が認められたのはADL評価の一部のみで、身体活動量は呼吸器疾患患者の歩数が有意に低下していました。要介護認定調査のADL評価項目には呼吸困難感が含まれていないため、認定調査時に評価に含まれていない項目の状態を正確に伝えることで現状を打開できるのではないかと考えます。





呼吸ケアのスペシャリストを目指しています！

— 慢性呼吸器疾患看護認定看護師・呼吸療法認定士として —

患者さんがより安心して治療できるよう、スタッフも常に進化を遂げる努力をしています！

慢性呼吸器疾患看護認定看護師 2名となりました！



このたび、慢性呼吸器疾患看護コースの第3期生として、福井大学の看護キャリアアップセンターに入学し、慢性呼吸器疾患について様々な講義やグループワーク、実習等を約半年間にわたって学ばせていただきました。

29名の同期は、皆それぞれに強い気持ちや看護観を持って臨んでいて、私自身、とても良い刺激になり、看護師としてだけでなく人としても成長させられた半年間でした。

私には6歳の娘があり、入学前は子育てや家事をしながらハイスピードな講義や試験についていけるのか等の不安もありましたが、呼吸器疾患看護を学びたい気持ちが強く、娘とともに福井県に移住しました。慣れない土地でも、娘は強くたくましく楽しみながら新生活に馴染み、私を支えてくれました。このことが大きな励みとなって私を認定試験合格へと導いてくれたのだと思います。

最後になりますが、このような貴重な経験を与えてくださった病院はじめ、その他多くの関係者に心より感謝するとともに、この資格を存分に生かせる看護師になれるよう日々精進して参りたいと思います。

看護師 井上 真実



3学会合同呼吸療法認定士 合格者



理学療法士
池内 智之



理学療法士
田中 雄也



看護師
末次 由紀子



看護師
永田 愛

現在、当院では18名（看護師13名・理学療法士5名）の呼吸療法認定士が勤務しています。この資格は5年ごとの点数更新制ですので、常に新しい呼吸ケア技術を身に付け、患者さんに提供することができます。

連携室だより（地域包括ケア病棟開設）

当院では、地域ニーズに対応すべく平成26年6月より地域包括ケア病棟を開設いたしました。地域包括ケア病棟は、在宅酸素療法の方の急性増悪入院だけでなく、在宅医療へのスムーズな移行を図ります。

さらに、レスパイト（介護をする方の負担を軽減するために一時的なお預かり入院）を目的とした入院を受け入れることができます。医療が必要となるためショートステイなどの介護サービスが利用できない方、住宅改修などで一定期間自宅に戻れない方、生活リハビリが必要な方、ご家族への看護指導が必要もしくはご家族に介護疲れが見受けられるなどといった場合は、ぜひ、ご相談ください。

■ 地域包括ケア病棟（レスパイト入院） ■

- ・入院期間は最長で60日間
- ・治療や処置が医師の指示のもと行われる
- ・肺炎や増悪時の受け入れも可能
- ・退院先は自宅、もしくは在宅対象施設
- ・介護施設とは違って24時間看護師が対応
- ・介護保険認定の有無に関係なく利用可能

詳細をお知りになりたい方は、当院の地域医療連携室093-921-0438（中山、末松）までお問い合わせください。

外来担当のご案内

【外来担当表】

2014. 10. 1

下記の担当医は、都合により変更になる場合がございます。その場合は他の医師が診察いたしますのでご了承ください。

	午前（9：00～12：00） 受付は11：30まで（初診は11：00まで）	午後（14：00～17：00） 受付は16：30まで（初診は16：00まで）	（17：30～20：00） 受付は19：30まで
月	津田 徹 吉本 美華 増井 太郎（10：30～）	一木 克之	
火	津田 徹 一木 克之 良永 倫子	リウマチ外来 加茂 洋志 自見 勇郎	
水	午前外来休診	関 七重 [九大呼吸器科] 加藤 香織 廣澤 誠 [産医大]	一般内科・呼吸器外来 津田 徹（徳山 晋） 一般内科・糖尿外来 田中 誠一 [九州労災病院]
木	津田 徹 自見 勇郎 良永 倫子	リウマチ外来 加茂 洋志 吉本 美華	水曜日の夜間外来は再来患者さんのみの診療となります。
金	津田 徹 一木 克之 加藤 香織（10：30～）	岡元 昌樹 [久大1内科]	ただし、睡眠時無呼吸・禁煙外来の初診は18時半まで受け付けています。
土	自見 勇郎 / 徳山 晋 [隔週] 吉本 美華 / 加藤 香織 [交替] 脳血管外来 石束 隆男 [第2土曜] 睡眠歯科外来 津田 緩子 [月2回：予約制]		

（注）院長の外来診療は、予約制となります。

※月に一度、最初の診察日には**保険証**を忘れずご持参ください。

※日曜、祝日、土曜午後、水曜午前は休診です。（その他の休診日については、その都度掲示致します）

※睡眠呼吸障害外来の初診は月～土の全診療時間で行っております。

※当院にお掛かりの方で喘息の発作その他緊急時には、夜間でも電話（952-1304）をかけてご来院ください。



医療法人 恵友会

霧ヶ丘つた病院

ほっとホーム霧ヶ丘

恵友会デイサービスセンター

訪問看護・ヘルパー・ケアプランステーション

発行日 : 2014年11月14日

編集発行人 : 井田 章博

発行所 : 医療法人 恵友会

〒802-0052

北九州市小倉北区霧ヶ丘3-9-20

Tel. 093-921-0438 Fax. 093-921-5988

ホームページ : www.k-you.or.jp

メール : info@k-you.or.jp